

## 議 事 要 旨

日時	令和4年6月18日(土) 16時00分～17時00分	場所	今福小学校
出席者	今福小学校 PTA 約40名		
	城東区役所：大東区長、小川課長、田村		
議題	今福小学校 適正配置について		
資料	再編整備計画案(児童数 令和3年5月1日時点修正分)		

## 内 容

### 【小学校の再編整備について】

P①： 小学校の統合は確定したのか。その時期はいつごろなのか。



区： 条例上の対象校であり、良好な教育環境が提供できる適正規模とするため、統合するのが現実的な提案と考えているが、保護者や地域のみなさまのご理解がないままに決定できるものではない。ご説明や意見交換を繰り返して、ご理解を得ていきたい。

P②： 放出小学校との統合以外に選択肢はないのか。



区： まず同じ中学校下での統合ということを考えることとなっている。他の小学校との統合となると中学校の通学区域も再検討しなければならないため、その他の選択肢を用意するのは難しい。

P③： 今福小学校の児童数を増やすという考え方はないのか。児童が増えて、校舎の増改築を行っている学校もある。通学区域の見直しはできないのか。



区： 児童数を増やすための具体的な方策を持ち合わせていない。今後、大規模マンションが建設されるなど、現時点で予見できないことは検討できない。通学区域の見直しは理論的には考えられるが、他のエリアが影響を受けるため、新たな調整が必要となり、それは難しいと考えている。児童の増加に対応するため、通学区域を見直し、今福小学校に受け入れる、という話については、地域からのご提案として、教育委員会に伝え、回答する。

### 【今後の進め方について】

P④： 保護者の理解が得られれば進めていく、という話であるが、その判断はどのようにするのか。



区： 説明会を繰り返し、みなさまからの質問に回答しながら、大体の理解が進んだとなれば確定して進めていく。

P⑤： 今福小学校を選んで子どもを通わせている。支援が必要な子どもへの丁寧な対応がなされているため、新しい学校に通わせることには不安がある。



区： 地域のみなさまの多くが愛着を持っておられることは尊重しなければならない。しかしながら、子どもたちのよりよい教育環境を考えたときに、小規模校のデメリットへの対応策として適正化を進めていく必要があると考えている。支援が必要な児童が多くいらっしゃることは認識しており、先生方がサポートされていると聞いている。一方で、適正化を進めていく必要があるという現実はあり、区役所はそれを遂行していくべき立場として忠実に任務にあたっている。

P⑥： 統廃合することは決まっている、という言い方はおかしいのではないか。



区： 市議会での議決により定められた条例に規定されている話である。ただし、そのとおりに決定事項としてすぐさま進めていく、というつもりはなく、みなさまのご理解を深めていただくべく、しっかり説明をしていきたいと考えている。

P⑦： 他の対象校にはこういった話は進んでいるのか。



区： 対象校に対しては、それぞれ理解を得られるように対話を続けているところである。

P⑧： 子どもたちの中でこの話が広がっていくことが心配である。子どもたちへのメンタルケアは何か考えているか。



区： 具体的に何かということではないが、この話は先生方に伝え、学校で必要な対応はしていただく。

P⑨： 新入生はもう取らないということか。卒業するまでは学校を残してほしい、その前提で進めてもらいたい。



区： いつから統合するのかということが現時点では決まっていない。来年度（令和5年度）に統合ということではなく、進めるとしてもさまざまな手順があるので、もう少しかかる。もう新入生を取らない、ということはない。卒業するまで、という期限の保証はできないが、統廃合する際の条件としては出していくことは可能であり、そうした意向があることをしっかり受け止めたい。